

砂川警察署の存続を強く求める意見書

日々365日24時間体制で安全で安心な地域づくりのためにご活躍下さっている現場の警察官の皆様には日頃より心から敬意と感謝を申し上げます。安全で安心して暮らせる社会の実現は、町民及び地域住民全ての切実な願いです。地域社会に密着した警察業務は地域に無くてはならないものであり、他の行政機関が代替できる性質のものではありません。現在、北海道警察では警察署の機能強化に向けた再編整備計画案を検討していますが、計画案の中で砂川警察署を隣接警察署と統合し、警察力を強化するという案は、地域の実情を無視し、政府の進める地方創生の方針にも逆行するものであり、計画案からの削除を強く要求致します。

凶悪犯罪は都市や地方において分け隔てることなく発生します。砂川警察署管内においても、本年は全国的に注目された凶悪な交通犯罪事件の発生、グライダー機の墜落、殺人事件の死体遺棄現場が発見されるなど、警察事象として重大な事象が続いており、隣接警察署との再編統合よりも事件捜査などの対応のために、むしろ砂川警察署への人員増を図る必要に迫られているところです。警察力の強化は、施設の再編統合ではなく、警察官の増員による対応能力の強化が最優先であるべきです。

政府の進める地方創生は都市から地方へ人の移動を促し、都市集中になりがちな人口の偏在を解消しようと努めています。地方であっても全ての世代の人々が安心して暮らせる地域社会の構築と維持を図らなければなりません。そのためには地域の治安維持、防犯活動、災害対策の拠点として警察署は大切な施設です。既存の警察署を拠点として、警察官の増員をすることは社会全体における雇用増につながるものであり、警察署の存続は地方の人口維持に直結し経済活動の活性化にも寄与するものです。

砂川警察署管内には、国道12号線及び国道275号線、JR函館本線、道央自動車道といった交通網により、人々の往来も多く、地域事情に精通した一定水準の人員、規模を有する警察署の果たす役割には大きなものがあります。また、北海道内の電力供給を担う重要な施設として北海道電力砂川火力発電所及び奈井江火力発電所が稼働しています。このような施設に対するテロ等からの警戒は常に必要であり、緊急時に備えて、近傍に警察署がある安心感は他の何物にも替え難いものです。

加えて、砂川市には空知地域の基幹センター病院である砂川市立病院があります。大規模災害の際には、地元警察署員の協力を得ながら、迅速に入院患者や被災者の救済など万全の体制がとれるよう準備していなければなりません。広大な管轄面積を有し、積雪寒冷などの地理的な特殊性がある北海道においては、警察活動の拠点であり、地域住民の拠り所として、また災害発生時の拠点或いは避難場所として地域に密着した警察署はしっかりと残しておかなければなりません。

既存の警察署の更新については、時間がかかっても全ての警察署を計画的に更新するべきです。数多くの警察署を建て替えたり、改修することにより、地域経済に多大な効果を与える公共事業として、また、必要な事業が長期間にわたって確実に確保されることにより、大きな地域貢献となります。

最後に警察署の機能強化は、警察署の再編統合ありきで物事を考えるのではなく、砂川警察署を残し、砂川市、奈井江町、上砂川町、浦臼町や地域住民の意思を尊重して地域が望む形で警察署の機能強化が図られることを強く要望致します。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

平成27年12月18日

上砂川町議会議員 堀内 哲夫

提出先 北海道議会議員 北海道知事 北海道公安委員会委員長 北海道警察本部長